



## 内服薬・外用薬の搬送時間について

病棟から「●●さんの内服薬を急ぎで送ってください」との電話連絡が多く、対応に苦慮しています。平日業務時間内（8時半～17時）の内服薬・外用薬の薬剤部から病棟への搬送は、平成28年4月から、1日9回に増便となり、スケジュールは以下のように変更となっています。緊急に薬の搬送が必要な場合以外は、病棟到着予定時間までお待ちください。

### <内服薬・外用薬のメッセンジャー搬送業務スケジュール(平日業務時間内)>

薬剤部からの搬送時間		病棟到着予定時間
①9:00	→	9:40 頃
②10:00	→	10:40 頃
③11:00	→	11:40 頃
④12:00	→	12:40 頃
⑤13:00	→	13:40 頃
⑥14:00	→	14:40 頃
⑦15:30	→	16:10 頃
⑧17:00	→	17:40 頃
⑨17:30	→	18:10 頃

## 効能・効果等追加のお知らせ

◎トリプタノール錠10mg, 25mg(一般名:アミトリプチリン塩酸塩)<精神神経用剤>

【効能・効果】末梢性神経障害性疼痛

【用法・用量】成人1日10mgを初期用量とし、その後、年齢、症状により適宜増減するが、1日150mgを超えないこと。

◎サインバルタcap20mg, 30mg(一般名:デュロキセチン塩酸塩)<精神神経用剤>

【効能・効果】慢性腰痛症に伴う疼痛

◎乾燥弱毒生水痘ワクチン「ビケン」(一般名:乾燥弱毒生水痘ワクチン)<ワクチン>

【効能・効果】50歳以上の者に対する带状疱疹の予防

## 医薬品・医療機器等安全性情報 No. 332

### ★ニボルマブ(遺伝子組換え)製剤使用時の劇症1型糖尿病に関する周知について

平成28年1月28日付けにて、「ニボルマブ(遺伝子組換え)製剤使用時の劇症1型糖尿病に関する周知について」通知を发出している。その内容と症例の概要等について紹介する。

### ★「医薬品・医療機器等安全性情報報告制度」の報告様式の変更について

「医薬品・医療機器等安全性情報報告制度」の報告様式が変更となったので、変更の概要を紹介する。

### ★重要な副作用等に関する情報

以下の医薬品の使用上の注意のうち重要な副作用等について、改訂内容等を紹介する。

### ◎フロセミド(商品名:フロセミド錠20mg・40mg「NP」、ラシックス細粒4%、ラシックス注20mg・100mg) <利尿剤>

【重大な副作用】間質性肺炎…咳嗽、呼吸困難、発熱、肺音の異常(捻髪音)等が認められた場合には、速やかに胸部X線、胸部CT等の検査を実施。間質性肺炎が疑われた場合には投与を中止、副腎皮質ホルモン剤の投与等適切な処置。

※間質性肺炎関連症例2例(うち死亡0例)(平成24年4月～平成27年8月)

医薬品・医療機器等安全性情報は、医薬品医療機器情報提供ホームページ(<http://www.pmda.go.jp/>)又は厚生労働省ホームページ(<http://www.mhlw.go.jp/>)からも入手可能。

## オーダ中止のお知らせ

オーダ中止日	薬剤名	理由
2016. 3. 31	サンドスタチン LAR 筋注用 10mg・20mg・30mg	サンドスタチン LAR 筋注用キット 10mg・20mg・30mg へ切り替えのため
2016. 4. 8	グルテストセンサー	グルテスト Neo センサー採用のため
	ワンタッチペンランセット	ワンタッチアクロランセット採用のため
	LFS クイックセンサー	ワンタッチベリオセンサー採用のため
	マイクロファインプラス 32G	ナノパスニードル 34G 採用のため
	マグネスコープシリンジ 10mL	ガドピスト静注 1.0mol/L シリンジ 5mL・7.5mL 採用のため
	マグネピストシリンジ 15mL	
2016. 4. 12	ゲムシタビン点滴静注用 200mg・1g 「タイホウ」	ゲムシタビン点滴静注液 200mg/5.3mL・1g/26.3mL 「ホスピーラ」採用のため
2016. 4. 13	モーラスパップ 30mg	モーラスパップ XR120mg 採用のため
2016. 4. 13	アレセンサ cap20mg, 40mg	アレセンサ cap150mg 採用のため
2016. 4. 19	メテルギン錠 0.125mg	販売中止のため

## 院内副作用報告

### ★2013年7月に報告された副作用

医薬品名	副作用名
ランマーク皮下注 120mg	顎骨壊死

## 使用期限延長のお知らせ

- ◎アレセンサcap150mg(一般名:アレクチニブ塩酸塩)〈抗悪性腫瘍剤〉  
使用期限:2年6カ月→3年

## 包装変更等のお知らせ

- ◎静注用フローラン0.5mg(一般名:エポプロステノールナトリウム)〈肺動脈性肺高血圧症治療剤〉(緊急購入薬)  
専用溶解液変更
- ◎アクチット輸液〈電解質輸液〉
- ◎ヴィーンF輸液〈細胞外液補充液〉
- ◎ヴィーンD輸液〈細胞外液補充液〉  
ラベルデザイン変更
- ◎イリノテカン塩酸塩点滴静注液40mg・100mg「タイホウ」(一般名:イリノテカン塩酸塩水和物)〈抗悪性腫瘍剤〉  
ゴム栓部形状変更
- ◎ジェービックV(一般名:乾燥細胞培養日本脳炎ワクチン)〈ワクチン〉  
キャップ、バイアル、ゴム栓変更
- ◎シムレト静注用20mg(一般名:パシリキシマブ(遺伝子組換え))〈腎移植後の急性拒絶反応抑制剤〉  
バイアルキャップデザイン変更
- ◎パクリタキセル注30mg・100mg「NK」(一般名:パクリタキセル)〈抗悪性腫瘍剤〉  
バイアルにコップ型プロテクト包装装着、ラベル変更、ピロー包装廃止、個装箱サイズ変更
- ◎アボルブcap0.5mg(一般名:デュタステリド)〈前立腺肥大症治療剤〉
- ◎ジクロフェナクNa錠25mg「サワイ」(一般名:ジクロフェナクナトリウム)〈解熱鎮痛消炎剤〉
- ◎タムスロシン塩酸塩OD錠0.1mg「サワイ」(一般名:タムスロシン塩酸塩)〈前立腺肥大症治療剤〉
- ◎プロチゾラムOD錠0.25mg「サワイ」(一般名:プロチゾラム)〈催眠鎮静剤〉  
PTPシートデザイン変更。

## アボルブ cap 出荷調整解除のお知らせ

- ◎アボルブcap0.5mg(一般名:デュタステリド)〈前立腺肥大症治療剤〉  
委託製造工場(フランス)においてフランス当局の指摘を受けたことにより、生産が停止、調査結果が出るまでの間出荷が調整されていましたが、このたび製造が再開され出荷量の調整が解除となりました。  
これに伴い、4月1日よりオーダー再開となりました。

## 製造販売承認承継のお知らせ

- ◎ロキソプロフェン錠60mg「EMEC」〈解熱鎮痛消炎剤〉  
製造販売移管:サンノーバ株式会社→エルメッド エーザイ株式会社(2016年4月1日)

改訂内容の重要度 ★：最重要 ※：重要

成分名（薬品名）	主な改訂内容
フルニデピラム(注射剤) (サイレース静注)	<p>※重要な基本的注意：鎮静は必要な最低の深さにとどめる …投与前に昇圧剤等の救急蘇生剤を準備。必要に応じてフルマゼニル(ベンゾジアゼピン受容体拮抗剤)を手もとに準備。 投与中観察を行う際はパルスオキシメーターや血圧計等を用いて、継続的に患者の呼吸および循環動態を観察。</p> <p>※重大な副作用：無呼吸、呼吸抑制、舌根沈下 …重篤な転帰をたどることがあるので十分観察。このような場合には気道を確保し、換気をはかるなど適切な処置。</p>
ロキソプロフェナトリウム水和物(経口剤) (ロキソプロフェン錠「EMEC」)	<p>※重大な副作用：小腸・大腸の狭窄・閉塞 …小腸・大腸の潰瘍に伴い、狭窄・閉塞があらわれることがあるので十分観察。悪心・嘔吐、腹痛、腹部膨満等の症状が認められた場合直ちに投与中止、適切な処置。</p>
バロピリドンパルミン酸エステル (ゼプロリン水懸筋注シリンジ) [緊急購入薬] リスパリドン(注射剤) (リスパターールコンスタ筋注用) [緊急購入薬]	<p>※重大な副作用：アナフィラキシー …十分観察、異常が認められた場合投与中止、適切な処置。過去に経口バロピリドン又は経口リスパリドンで忍容性が確認されている場合でも、アナフィラキシーを起こした症例報告あり。</p>
バルプロール (ビスタイン静注用)	<p>※重大な副作用：痙攣</p>
フロセミド (フロセミド錠「NP」、ラシックス細粒、ラシックス注)	<p>※重大な副作用：間質性肺炎 …咳嗽、呼吸困難、発熱、肺音の異常(捻髪音)等が認められた場合には、速やかに胸部X線、胸部CT等の検査を実施。間質性肺炎が疑われた場合には本剤の投与を中止、副腎皮質ホルモン剤の投与等適切な処置。</p>
ミラベグロン (ヘタニス錠)	<p>※重要な基本的注意：血圧の上昇があらわれることがあるので、本剤投与開始前及び投与中は定期的に血圧を測定。</p> <p>※重大な副作用：高血圧 …収縮期血圧 180mmHg 以上又は拡張期血圧 110mmHg 以上に至った例も報告されているので、十分観察、異常が認められた場合投与中止、適切な処置。</p>
ミコフェノール酸モフェチル (セルセプト cap)	<p>※警告：ヒトにおいて催奇形性が報告されているので、妊娠する可能性のある婦人に投与する際は、投与開始前に妊娠検査、陰性であることを確認した上で開始。投与前から投与中止後 6 週間は信頼できる確実な避妊法の実施を徹底させるとともに、問診、妊娠検査を行うなど、妊娠していないことを定期的に確認。</p> <p>※重要な基本的注意： 催奇形性があるので、妊娠する可能性のある婦人への使用に際し患者に次の注意事項についてよく説明し理解させた後、使用。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 催奇形性が報告されている</li> <li>2) 投与開始前に妊娠検査が陰性であることを確認</li> <li>3) 投与前、投与中及び投与中止後 6 週間は避妊</li> <li>4) 投与中は追加の妊娠検査を行うなど妊娠していないことを定期的に確認。妊娠が疑われる場合には直ちに担当医に連絡</li> </ol> <p>※妊婦、産婦、授乳婦等への投与： 妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には投与しないこと。〔妊娠中に本剤を服用した患者において、耳(外耳道閉鎖、小耳症等)、眼(眼欠損症、小眼球症等)、顔面(両眼隔離症、小顎症等)、手指(合指、多指、短指等)、心臓(心房中隔欠損症、心室中隔欠損症等)、食道(食道閉鎖等)、神経系(二分脊椎等)等の催奇形性の報告あり。本剤服用妊婦における流産は 45～49%との報告あり。〕</p>

※DSU について：最重要、重要な情報を掲載しています。その他詳細情報については、医薬品・医療機器情報提供ホームページ (<http://www.info.pmda.go.jp/>) で確認可能